

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

箕面市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

大阪府箕面市

3 地域再生計画の区域

大阪府箕面市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の総人口は増加傾向にあり、2015 年には 13 万 5 千人となり、2020 年 3 月には 13 万 8 千人に達した。これは、新市街地を中心に子育て層が転入し、社会増加が続いていることが主な要因となっている。

この人口増のトレンドを踏まえ、今後の将来人口を推計すると、人口は 2025 年まで増加し、14 万 3 千人に達する見込みとなっている。2025 年以降は、新市街地の開発が完了することに伴い、人口の流入ペースが落ち着くことで、全国傾向と同じく人口は減少し、箕面市人口ビジョンの推計によると、2060 年には 120,304 人となると見込まれる。

本市の自然動態をみると、出生数は近年は概ね 1,000 人前後で推移しており、2018 年年には 1,031 人となっている。一方、死亡数は増加傾向が続いており、2018 年には 1,074 人（43 人の自然減）となっている。

社会動態をみると、2010 年以降、新市街地の整備による新たな住宅供給が進んだことにより転入者が増加し、社会増の状態が続いている。2018 年には 409 人の社会増となっている。

年齢 3 区分別の人口動態をみると、2015 年の総人口に占める年少人口（0～14 歳）の割合は 15%と全国より 2 ポイント高く、生産年齢人口（15～64 歳）は 61%と、減少傾向にあるものの全国と同率となっている。また、老年人口（65 歳以上）は 24%と、増加傾向にあるものの全国より 2 ポイント低い状況となっている。し

かし、2025 年以降、総人口が減少する一方、老年人口は 2050 年まで増加する見込みとなっており、長期的に見ると、本市においても、人口減少・少子高齢化により地域の担い手減少や地域コミュニティの衰退といった影響が徐々にあらわれてくることが想定される。こうした人口減少による社会経済的な影響を抑えるため、本市においては、子育て支援施策の効果的な実施により、子育て世代の流入促進、出産しやすい環境整備など、人口増加の好循環を生み出し、また、北大阪急行線の延伸とそれに伴うバス路線網の再編による公共交通利便性の飛躍的な向上など、住宅都市の魅力が格段に高まることにより、今後も人口が増え続ける地盤をより強固にし、人口増加・人口維持へとつなげていくこととする。

また、人口の将来展望の目標としては、全国と比べても、総人口に対する子どもの割合が多い現在のトレンドを将来的にも維持することを目標に掲げる。

この将来目標を実現することで、本市における人口は、2040 年頃まで増加し、14 万 6 千人に達することが見込まれる。2040 年以降は人口減少に転じ、2060 年には約 13 万 7 千人となると想定されるが、2015 年人口規模を維持する。

なお、これらを実現するため、取り組みに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 新たな価値を産み出す成長産業を創出する
- ・基本目標 2 箕面へ大きなひとの流れを生み出す
- ・基本目標 3 安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つまちをつくる
- ・基本目標 4 地域が連携し、だれもが安全・安心にいきいきと暮らせるまちをつくる

【数値目標】

5-2 の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時 点)	目標値 (R6 年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	創業比率	2.43%	5.00%	基本目標 I
	農業公社の自立	—	純利益 0 円以上	
イ	定住人口の増加	138,373 人	143,000 人	基本目標 II

	観光客数の増加	1,563,000人	1,785,000人	
ウ	子育てしやすいまちと思っている市民の割合	67.2%	80.0%	基本目標Ⅲ
	保育所の待機児童数	0人	0人	
エ	災害に備えて対策をとっていると考え市民の割合	76.6%	95.0%	基本目標Ⅳ
	自分が健康であると感じる市民の割合	79.7%	81.0%	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

箕面市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 新たな価値を産み出す成長産業を創出する事業

イ 箕面へ大きなひとの流れを生み出す事業

ウ 安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つまちをつくる事業

エ 地域が連携し、だれもが安全・安心にいきいきと暮らせるまちをつくる事業

② 事業の内容

ア 新たな価値を産み出す成長産業を創出する事業

今後、人口減少・高齢化などに伴い市場も大きく変化していくことが予想される中、既存の商業の発展のみならず、新たな価値を産み出す産業の集積を図ると同時に、創業を促すことで、強い産業基盤の創出、市内産業の活性化を図る。また、箕面の大きな魅力である「みどり」を守り育む農林業の発展を図り、共に北摂山系を形成する能勢町、豊能町と

の将来的な広域連携も視野に入れ、地域に根ざした産業を維持・活性化させる事業。

【具体的な事業】

- ・産官学が連携し、スポーツと健康をテーマとした施設を整備
- ・産官学が連携し、最先端技術を産み出す産業拠点を形成 等

イ 箕面へ大きなひとの流れを生み出す事業

魅力あるまちづくりを進め、住宅都市としての「箕面ブランド」の価値向上を図ると同時に、強力にPRしていくことで市内外の「箕面に住みたい・住み続けたい」機運の醸成を目指す。また、「紅葉の箕面」だけではない、四季を通じた箕面の魅力発信及び訪日外国人観光客の獲得を通じ、箕面への来訪者数の増加を目指す事業。

【具体的な事業】

- ・箕面の各地域に新たな魅力を生み出す
- ・観光の活動拠点の整備 等

ウ 安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つまちをつくる事業

まち全体で、安心して子どもを育てることのできるまち、子どもがのびのびと育つことのできるまちを目指す。また、子どもが、自ら「生きる力」を身につけることができるよう、保健所・幼稚園・認定こども園・小中学校、家庭が連携するとともに、大人と子どもが互いに信頼し合える多様な人間関係づくりに努めていく事業。

【具体的な事業】

- ・子どもを守るための地域ネットワーク機能の強化
- ・子育て支援の場の整備 等

エ 地域が連携し、だれもが安全・安心にいきいきと暮らせるまちをつくる事業

自治体を中心とした地域コミュニティを軸に、だれもが安全・安心に、いきいきと暮らせるまちを目指す。ハード・ソフト両面の対策を進め、より災害・犯罪に強いまちを目指す。また、高齢者から子どもまで、病気の予防と健康づくりに関心を持ち、加えて、多世代交流や障害者が働く事業所への地域支援を促進するなど、市民全員がいきいきと元気に活

動ができるまちを目指す事業。

【具体的な事業】

- ・市立病院の医療体制の充実
- ・北大阪急行線の延伸 等

※ なお、詳細は第2期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,300,000 千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年3月頃に当市の地方版総合戦略の推進を担う「箕面まち・ひと・しごと創生総合戦略推進検討会」において検証を行い、検証結果を基に市及び検討会参加団体において事業の見直しを行う。検証後、速やかに市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで